

事務事業チェックシート

事務事業No 672 事業名 紀州犬育成補助事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	1	文化財の保護

事業種別	継続		
事業期間	～		
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長・Tel	文化振興課	坂井 正二	435-1194
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		総務費	
	項		文化スポーツ費	
	目		文化財保護費	
	大事業		文化財保護事業	
中事業		無形民俗文化財等保存育成事業 (紀州犬育成補助事業)		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か 国指定文化財(天然記念物)保護団体の育成を図る。		全体事業概要 紀州犬の保護団体による紀州犬展覧会(日本犬展覧会・紀州犬展覧会)への盾・賞状の発行。			
	事業内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
第82回全国紀州犬展覧会 第64回和歌山県支部紀州犬展覧会 第43回東京支部紀州犬展覧会 第83回全国喜州犬展覧会		第84・85回全国紀州犬展覧会 第65回和歌山県支部紀州犬展覧会 第5回紀州犬保存会猟能大会	第2・3回紀州犬和歌山支部猟能大会	紀州犬和歌山支部猟能大会		

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	54	50	54	15	54	8	19			
伸び率(%)	-	-	0.0%	▲70.0%	0.0%	▲46.7%	▲64.8%	▲100.0%	▲100.0%	-
人件費	正規職員	801	861	861	1,036	1,227	1,337	1,566		
	正規職員以外									
	小計	801	861	861	1,036	1,227	1,337	1,566		
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源(税等)	54	50	54	15	54	8	19			
所要人数(人)	正規職員	0.11	0.11	0.11	0.13	0.15	0.17	0.2		
	正規職員以外									
主な予算内訳	賞賜金 19千円 文化財補助金 35千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	展覧会表彰状、盾制作回数	回	目標値					
			実績値	4	4	2		
			達成度(%)					
成果指標	各展覧会への紀州犬の出展件数	件	目標値					
			実績値	139	122	50		
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	紀州犬は天然記念物であり、後世に伝承すべく、保護しなければならない。
見直し・改善内容	団体との連絡を密にすることで、団体の年間事業がスムーズに展開するように促す。